

**コシヒカリの葉色は指標値比+1.0とやや濃い状況です！**  
**今後も飽水管理を実施し、根の活力を維持しましょう！**

**1 生育概況**

コシヒカリの出穂期は平年並となる見込みです(管内平均 8月2日頃)。草丈は長い状態で、葉色は前回調査から褪色が進んだものの指標値よりやや濃い傾向です。

**7/30 現在の生育**      **草丈：長い**      **茎数：並**      **葉数：並**      **葉色：やや濃い**  
**※コシヒカリ(指標値比)**      **(114%)**      **(99%)**      **(▲0.4)**      **(SPAD値+1.0)**

	田植日	草丈 (cm)			茎数 (本/m <sup>2</sup> )			葉数 (葉)			葉色 (SPAD)			備考	
		本年	指標比	前年比	本年	指標比	前年比	本年	指標差	前年差	本年	指標差	前年差		
コシヒカリ	下稲塚	5/10	107	118%	99%	415	106%	109%	13.0	▲0.5	▲0.7	33.4	0.4	1.4	7/29調査
	南新保	5/11	100	110%	103%	300	77%	64%	12.4	▲1.1	▲1.2	34.5	1.5	▲0.1	7/29調査
	長崎	5/12	101	111%	97%	436	112%	112%	13.6	0.1	0.6	33.5	0.5	▲1.4	7/29調査
	上百々	5/19	107	118%	106%	397	102%	98%	13.4	▲0.1	0.0	34.5	1.5	1.7	7/29調査
	平均		<b>104</b>	<b>114%</b>	<b>101%</b>	<b>387</b>	<b>99%</b>	<b>94%</b>	<b>13.1</b>	<b>▲0.4</b>	<b>▲0.3</b>	<b>34.0</b>	<b>1.0</b>	<b>0.4</b>	
	関山	5/17	95	122%	113%	381	112%	97%	12.8	0.3	0.0	32.4	▲1.6	1.6	7/29調査

**2 今後の管理**

新潟地方気象台によると、今後1か月の平均気温は平年より高くなる見込みです(令和6年7月25日発表)。

- (1) コシヒカリ、こしいぶきとも、出穂期25日後(高温登熟年は30日後)までは飽水管理を続け、根の活力を維持しましょう。また、異常高温や強風フェーンとなる場合には事前に速やかに湛水して、稲体の急激な水分不足による障害の発生を防止しましょう。
- (2) コシヒカリの葉色が薄い場合は、葉色を確認した上で、品質確保のため下記のめやすを参考に追加穂肥を検討してください。

ア 分施肥体系の追加穂肥のめやす(3回目穂肥は出穂期3日前までに施用する)

施肥体系	判定時期と葉色のめやす	施用時期と施用量
化学肥料体系【慣行栽培】 ・1~3回目とも化学肥料	出穂期3日前の葉色 SPAD値：31以下、葉色板4.0以下	出穂期3日前までに窒素成分で1kg/10aを上限
有機質肥料体系【減減栽培】 ・3回目に有機50%肥料	出穂期6日前の葉色 SPAD値：33以下、葉色板4.5以下	出穂期3日前までに窒素成分で1kg/10aをめやす

イ 基肥一発体系の追加穂肥のめやす

化学肥料100%全量基肥肥料の栽培で出穂期の葉色(SPAD値)が32を下回ると予想される場合は出穂10日前までに穂肥を窒素成分で1kg/10a施用しましょう。

減化学肥料栽培の全量基肥肥料で出穂10日前の葉色(SPAD値)が30以下の場合、出穂5日前までに有機質100%肥料を窒素成分で2kg/10a施用しましょう。

- (3) 斑点米カメムシ類の発生が多い地点があります。本田防除を適期に実施してください。
- (4) 葉いもちの発生が各地で確認されています。ほ場を見回り、発生が見られた場合は必要に応じ防除を実施してください。

**3 熱中症予防**

屋外での農作業は、気温の高い時間帯を避け、水分補給や休憩時間を十分に確保するなどの熱中症予防と健康管理に十分注意してください。「熱中症警戒アラート」が発表されている日は、熱中症の危険性が極めて高いので、積極的に熱中症の予防に努めてください